特旨ヲ以テ位記ヲ贈ラル

故藤原惺窩
故前野良澤
故高嶋四郎太夫

内閣

故藤原惺窩
故前野良澤
故高嶋四郎太夫

贈正四位

右謹テ裁可ヲ仰ク

明治廿六年十二月廿三日

内閣總理大臣伯爵伊藤博文

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

内閣書記官室 閣議 一二三號 十二月廿三日 奏聞 公月廿七日 達

明治廿六年十二月廿日

内閣書記官 内閣書記官長

内閣總理大臣

外務大臣 大蔵大臣 海軍大臣 文部大臣 逓信大臣

内務大臣 陸軍大臣 司法大臣 農商務大臣

故藤原慢窩前野良澤高瀉四郎
太夫贈位ノ件

右閣議ニ付ス

内閣

108

京都
故 藤原惺窩

右惺窩ハ天正慶長ノ間ニ在リテ儒學ヲ首唱シ大義名分ヲ明カニシ忠孝ヲ務倫ノ教ヲ傳ヘ門下ニ林信勝三宅亡羊等碩儒ヲ出タシ德川家康ノ如キ尤惺窩ヲ尊敬シテ其講經ヲ聽キ遂ニ信勝ヲ徵用シテ學事ヲ啓キラレシ又後陽成後水尾兩帝ハ亡羊ヲ宮中ニ召シテ講書ヲ聽キ給ヒ後光明帝ハ惺窩ヲ敬慕シ給フテ其文集ニ御製ノ序文ヲ賜フ實ニ文教中興ノ祖ニシテ爾後新井白石室鳩巢柴野栗山等ノ如キ徒皆其學統ヲ承ケ國ニ功アルコト洵ニ偉ナリトス依テ向ニ僧契沖カ皇學中興ノ功ヲ以テ贈位アリシ例ニ據リ特ニ舊功ヲ録セラレ正四位ヲ贈ラレ然ルヘシ

内閣

中津
故 前野良澤

右良澤ハ年四十七ニシテ始メテ蘭書ノ零本ヲ獲テ大ニ發憤シ遂ニ長崎ニ赴キテ此學ヲ研究シ又江戸ニ抵リ刑人ノ屍ヲ官ニ請フテ解剖シ草書ノ人身圖說ニ對照シテ大ニ得ル所アリ後ニ再ヒ長崎ニ至リ和蘭辭書醫術算術等ノ數部ヲ齎ラシ歸リ和蘭譯文略ヲ撰著シ尋テ輿地圖備管見蝦夷秘言彗星考魯西亞本紀略等數部ヲ譯述ス高齡ニ至ルマテ此學ニ進歩ヲ計畫スルコト一日ノ如シ抑良澤カ解剖ノ一擧ハ世上醫師カ五行配當ノ

内閣

妄說ヲ破リ大ニ醫學ノ眞理ヲ研究セシムルノ端緒ヲ開キ且内外二科ノ治療ニ草書ニ徴シテ之ヲ施スカ為ニ醫學ノ發達モ是ヨリ大ニ著シク啻ニ眞正醫學ノ開祖タルノ已ナラス洋書ノ讀法翻譯ノ指針ヲ世上ニ傳フルカ為ニ地理天文歴史等ニモ及ヒ後進就學ノ路ヲ啓キ實ニ洋學ノ嚆矢ト稱スルモ不可ナレ國ニ切ナルコト尙ニ大ナリトス依テ向ニ羽倉東陽本居宣長等ニ贈位アリシ例ニ據リ特ニ當切ヲ録セラレ正四位ヲ贈ラレ然ルヘシ

長崎
故 高嶋四郎大夫

右四郎大夫ハ世々長崎ニ在リテ外國通商
事務ヲ管シ夙ニ皇國武備ノ充實セ
サルヲ慨キ尤火器ノ技ニ精シカラサルヲ憂
ヘ砲銃ノ制ヨリ隊伍編成ノ法ニ至マテ或
ハ之ヲ西洋人ニ質シ或ハ之ヲ西洋書ニ徵
シ而シテ自ラ實地ニ試ミテ以テ門生ニ教授
シ嘗テ種痘及ビ造船術ヲ考究シ苟モ
國ニ益アルモノハ取リテ之ヲ傳ヘ為メニ私財ヲ
費スコト幾許ナルヲ知ラス天保年間文那
鴉片烟ノ變アハヒニ際シ皇國ハ文那ト輔車
唇齒ノ関係アルヲ以テ憂憤ノ餘幕府ニ
建議スルコト數回ニ及ヒ幕府其火術ヲ試
驗シ果シテ用フ可キヲ識リ遂ニ麾下ノ士ニ
教授セシム是ヨリ諸藩ニ其法ヲ傳フルニ至
ル後ニ鳥居甲斐守ト謀構スル所ト為リ幽
囚セラルヽコトナ餘年嘉永癸丑ノ歲米國使節
渡來ニ際シ罪ヲ赦サレテ再ヒ幕府ニ用ヒ
ラレ專ラ軍事ヲ掌リ國ニ功アルコト尚ホ少

内閣

トトセス依テ向ニ伊能忠敬林子平等ニ贈位アリシ例ニ據リ特ニ舊功ヲ録セラレ正四位ヲ贈ラレ然ルヘシ

御沙汰案

故 藤原惺窩

故 前野良澤

故 高嶋四郎太夫

特旨ヲ以テ位記被贈

故 藤原惺窩

内閣

故 前野良澤

故 高嶋四郎太夫

贈正四位

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

参照

明治十六年二月廿七日
贈正四位　故伊能忠敬
同　上　故羽倉東陽
同　上　故本居宣長
同　廿四年十二月十七日
贈正四位　故圓珠庵契沖
明治十五年六月三日
贈正五位　故林子平

内閣

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp